

K&W 第15号

神奈川と溶接

発行 社団法人日本溶接協会神奈川県支部

〒210 川崎市川崎区本町2-11-19

TEL 044-233-8367

FAX 044-246-5265



第39回(平成8年度)神奈川県溶接技術コンクール 入賞者

写真 事務局

支部長が交替

すでにお知らせの通り、池田前支部長は勤務の都合により支部長としての任務の遂行が難しくなり、任期半ばで相原新支部長と交替いたしました。今後は神奈川県支部の相談役として力添えをいただくことになりました。池田前支部長の益々のご健勝とご活躍を期待して止みません。この事により役員の変動がありましたので4頁でお知らせします。

支部長就任にあたって

(社)日本溶接協会神奈川県支部 支部長 相原 正公

平成8年5月30日に開催された評議員会に於いて支部長に任命されました相原でございます。前任の池田支部長がご都合により突然退任されることになり、副支部長の私とその命を受け支部長に就任いたしました。5月に就任して以来東部地区支部委員会への出席、支部の理事・幹事会、平成8年度神奈川県溶接技術コンクール実行委員会・そして準備、7月5日の競技会及び9月11日の表彰式と矢継ぎ早の支部行事があり、あっという間に6ヶ月が過ぎようとしていますが、改めて責任と事の重大性を痛感している次第でございます。当神奈川県支部は昭和32年3月に設立され柴田晴彦初代支部長に始まり、三上博支部長、隈部日出夫支部長、池田健治支部長と、技術立県神奈川の伝統を引き継いで来られました。私は三上支部長の代に当たる昭和62年から神奈川県支部の理事として参加して参りましたが、その間多くの諸先輩のご指導をいただきました。支部活動の中で「溶接」を通じ多くの仲間もできました。特に『アーク溶接特別教育』は神奈川県内の各地を講習会の場として開催されるため、講師として参加する私にとってはそこで働く溶接仲間と直接接する機会を得ることが出来大変有意義なことであります。と同時に支部活動、あるいは支部運営に当たっては必要不可欠なものであると思います。(社)日本溶接協会の支部活動は地域に根ざした産業の発展に貢献する事であり、技術・技能の伝承と後継者育成の助成、人材の育成にあると考えます。毎年開催される溶接技術コンクールはその良き技術・技能の発表の場であり、多くの参加者によって競われる事が向上に繋がっていくものと確信しています。また各種講習会の開催、技術指導及び相談、出版書籍の頒布、支部機関紙の発行、工場見学会の開催などを積極的に行い多くの皆様に理解していただき参加していただければ支部を運営する一人としてこの上ない幸せであると同時に、そのようになるよう事務局共々邁進して行く所存であります。この度の改選で私を初め両副支部長並びに事務局長と新任であります。諸先輩のご指導を仰ぎながら基幹産業、基幹技術に従事する私達がさらに自信と誇りを持ち生産活動に寄与できるようそして業界発展に尽力致す所存ですので会員の皆様始め神奈川県並びに関係諸団体、関係各位のご指導ご協力をお願いいたします。



第39回神奈川県溶接技術コンクール開催される

神奈川県及び(社)日本溶接協会神奈川県支部共催による、第39回(平成8年度)神奈川県溶接技術コンクールは、平成8年7月5日(金)(財)日本溶接技術センターに於いて開催された。

参加者は78名(アーク溶接第1部25名・同第2部8名・半自動溶接第1部24名・同第2部21名)と前回は13名も上回り、また、このコンクール始まって以来39年にして初めての女性の参加者(第2部で2名)もあり久々に話題溢れるコンクールとなりました。そのうえアーク溶接第2部で参加した佐藤亜紀さんは優勝もしてしまうという快挙を成し遂げました。残念ながら第1部への参加ではなかったので全国溶接技術競技会への神奈川県代表にはなれませんでした。来年以降には女性の県代表を目指している会社もあるようですので今後にまた新しい話題を予感するコンクールでもありました。

各部の優勝者 神奈川県知事賞(団体賞・個人賞)

アーク溶接第1部

千代田プロテック(株) 大野 季彦

アーク溶接第2部

アイダウエルディング(株) 佐藤 亜紀

半自動溶接第1部

三菱重工業(株)横浜製作所 荒井 靖行

半自動溶接第2部

(株)加藤製作所 岸下 尚由

上記の各会社にはそれぞれ団体賞として神奈川県知事賞が贈られました。また各個人には(社)日本溶接協会神奈川県支部長賞(優秀賞)・東部地区溶接技術検定委員長賞・産報出版(株)産報賞が贈られた。

入賞者(成績順)

アーク溶接第1部

大野季彦/千代田プロテック(株), 伊東尚之/(株)東芝京浜事業所, 小山儀幸/(株)東芝京浜事業所, 渡部俊一/千代田プロテック(株), 金子和之/(株)神戸製鋼所溶接事業部, 峯尾幸三/三菱電機(株)鎌倉製作所, 飯塚久雄/石川島播磨重工業(株)横浜第一工場, 前田誠/三菱電機(株)鎌倉製作所, 酒井孝弘/(株)新潟鉄工所横浜工場

アーク溶接第2部

佐藤亜紀/アイダウエルディング(株), 古川忍/(株)三興製作所平塚工場, 岩淵和行/(株)福嶋鉄工所, 鈴木智昭/菱電電子機工(株), 東山昇/菱電電子機工(株)

半自動溶接第2部

岸下尚由/(株)加藤製作所, 野村敏雄/(株)青柳製作所, 内藤智和/(株)加藤製作所, 善方厚/(株)コイズミ, 稲葉誠/(株)加藤製作所, 小関均/(株)青柳製作所, 小室亨央/アイダウエルディング(株), 岡田良子/日本溶接構造専門学校

半自動溶接第1部

荒井靖行/三菱重工業(株)横浜製作所, 佐藤和夫/住友重機械工業(株)追浜造船所, 田所将彦/(株)東芝浜川崎工場, 矢部成輝/(株)神戸製鋼所溶接事業部, 清末高德/(株)東芝京浜事業所, 浅海雄一/(株)神戸製鋼所溶接事業部, 基旭/(株)東芝浜川崎工場, 松本朗/東急車輛製造(株)横浜製作所, 加藤孝志/石川島播磨重工業(株)横浜第一工場, 亀井豊生/東急車輛製造(株)横浜製作所, 根岸英明/東急車輛製造(株)横浜製作所



佐藤亜紀さん



岡田良子さん

第42回(平成8年度)

全国溶接技術競技会 福島県大会

平成8年度の全国溶接技術競技会は、福島県郡山市・東日本旅客鉄道(株)郡山工場において、10月19日(土)(開会式), 20日(日)(競技会)の2日間に渡って開催されます。神奈川県からは、先に行われた第39回神奈川県溶接技術コンクールに於いて、各第1部で1位・2位に入賞した下記の4名が県代表として出場します。

アーク溶接の部

大野 季彦/千代田プロテック(株)
伊東 尚之/(株)東芝京浜事業所

半自動溶接の部

荒井 靖行/三菱重工業(株)横浜製作所
佐藤 和夫/住友重機械工業(株)追浜造船所

半自動のJIS検定を何度か受け、立向は合格するのですが、SA-2Fで不合格になり困っています。技量不足はあると思いますが、ポイントを教えてください。(宮城県 A鉄工)

半自動溶接技術検定では下向溶接を溶接技術の基本としており、立向を受験する場合でも必ず下向を受けることになります。したがって実施工を考え、立向、横向を受験する場合でもSA-2F(下向裏あて金あり)を受けSA-2V, SA-2Hを受験することになります。

受験にあたり、日ごろから下向溶接に慣れているため立向、横向の練習量に対し下向はほとんど練習しない人が多く、下向で不合格になり、結果としてすべて不合格になってしまうケースがあります。

技術検定は技量の良否を判定するものであり、技量により合格率も変わってくると思いますが、次のようなポイントを参考に、一度練習してみてください。

○開先と仮付け

開先角 60° 、ルート面0mmの試験材を図1のような状態で仮付けし、仮付け後 $3\sim 4^\circ$ の逆ひずみをとります。この時、裏あて金と試験材

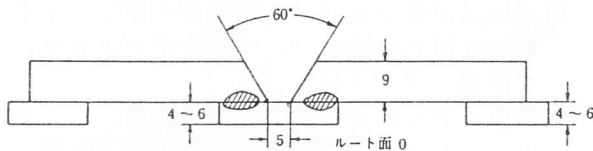


図1 仮付け

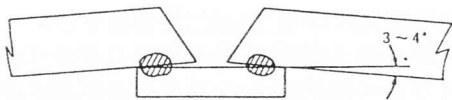


図2 逆ひずみ

との間にすき間が生じますが、このすき間によりガス抜けができ、初層のブローホール防止になります(図2)。

○本溶接(SA-2F)

MG-50T(MG-2)1.2mmφを用い240A-26Vにセットし、後退法によりセミウィーピングでおこない広幅で十分な溶込みを確保します。一方、高電流を使用する方法も考えられますが、裏あて金の溶落ち、溶融量の増加によりウィーピングピッチが粗くなることでピッチ間のルート部が溶けないことがあります。2層目は前進法、後退法のどちらでも良く、平らに盛ることが大事です。3層目は外観を良くするため、180A-22Vにセットし後退法でおこないます(図3)。

以上、経験から得たポイントをいくつか挙げましたが、条件など多少変わることがあり、練習の中から自分に合った条件を探してください。

((株)神戸製鋼所 溶接棒事業部 販売部)

青木 貞夫

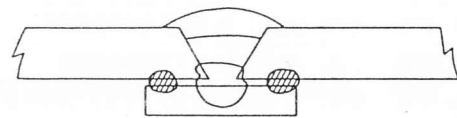


図3 溶接後

((株)神戸製鋼所・技術ガイドより転載)

山と温泉 北アルプス高天が原温泉と裏銀座コース 1996.8.12~8.17

我々日本人は温泉が好きで相変わらず温泉ブームは衰える事なく続いているようですが、人里離れた山また山の温泉に入るという事はまた格別の感があります。私の今回の山旅は格別の思いが有ります。なにしろバスを降りてから歩き始めて2日かかって辿り着いたのですから。昨年この地方を襲った大豪雨で沢の中にあつた温泉が流されてしまい、今は一段高い所に野天風呂が有ります。この地は富山県と岐阜県の県境一帯で北アルプスで最も奥深いところに位置します。帰りは来た道を戻るか、2~3日かけて新穂高温泉が上高地に出ます。私は温泉の後4日かけて裏銀座コースを新穂高温泉へ歩きました。



JR北陸線・急行能登で
上野駅を午前0時近くに
出発、富山に6時頃着
富山地鉄とバスを乗り継ぎ
折立から歩く
太郎平(泊)薬師沢小屋
薬師沢(黒部川の上流)
高天が原山荘(泊)温泉

事務局 岩井

◀太郎平に咲くチングルマ



(4)

平成8年度(社)日本溶接協会 神奈川県支部役員名簿

支部長交替により平成8年度の神奈川県支部の役員が一部交替いたしましたのでお知らせいたします。

(順不同敬称略)

役職	氏名	所属	備考
支部長	相原 正公	(株)三興製作所 平塚工場 工場次長	新任
副支部長	鈴木 勇武	日本鋼管工事(株) 取締役ガス配管部長	新任
副支部長	土田 栄二	三菱重工業(株) 横浜製作所 鉄構工作部 工作一課長	新任
理事	宮内 芳明	神奈川県 商工部 工業貿易課長	
理事	関口 邦夫	アイダウエルディング(株) 取締役工場長	
理事	名矢 治彦	石川島播磨重工業(株) 横浜第一工場 スタッフグループ部長	
理事	加藤 明男	(株)大倉製作所 大船工場 検査課	
理事	高木 明	神奈川県 高圧ガス流通保安協会 会長	
理事	近藤 信一	神奈川県 鉄構業協同組合 理事長	
理事	藍田 勲	神戸製鋼所 溶接事業部 技術部長	
理事	西浦 憲爾	住友重機械工業(株) 追浜造船所 主席技師	
理事	林 大祐	千代田プロテック(株) 製作担当部長	新任
理事	駿河 省平	(株)東芝 京浜事業所 材料部長	
理事	金井 宏二	東急車輛製造(株) 横浜製作所 業務部 生産技術課長	
理事	熊田 芳紀	日本鋼管(株) 鶴見製作所 重工部 業務室長	
理事	吉原 繁之	日揮工事(株) 参事	
理事	稲垣 道夫	(財)日本溶接技術センター 会長	
理事	秋田 安友	日立精工(株) 業務部 溶接機業務課長	
理事	福嶋 三郎	(株)福嶋鉄工所 代表取締役相談役	
監事	紫垣 悦章	(株)荏原製作所 藤沢工場 風水力事業本部 冷熱事業部 生産部長	
監事	林 和義	富士電機(株) 電力事業本部 工作部 製缶課長	
相談役	隈部日出夫	三菱重工パーキング建設(株) 取締役社長	
相談役	池田 健治	千代田アイ・エス・イー(株) 安全部 取締役部長	新任

溶接技術検定試験について 溶接協会からのお願い

下記事項について申し込み時にご留意下さいますようお願い致します。

1. 検定試験申し込みの際

- ◎最近6ヶ月以内の写真2枚必ず添付して下さい。
- ◎溶接技術資格証明書がある場合はその証明書又は更新試験通知書を添付して下さい。
- ◎郵便番号及びふりがなを記入して下さい。
- ◎溶接棒或いはワイヤの銘柄を記入して下さい。(試験日に持参)
- ◎試験希望日を記入して下さい。
- ◎試験料金は出来るだけ試験申込書提出時に納入して下さい。(やむを得ない場合は請求書をお渡しします)

2. 試験申し込み後

- ◎試験を申し込まれますと受験票をお渡しします。この受験票を速やかに受験者本人に手渡しして下さい。そして受験票に記載されている試験日・試験会場・試験種目等を確認し、間違いがある場合は至急申し出て下さい。(特に試験種目については試験当日の変更は認められませんのでご注意ください)

3. 試験日の変更及び欠席について

- ◎試験は試験予定日の3週間前に締切ります。締切り後の試験については変更できませんので注意して下さい。
- ◎欠席された場合の試験料金は変還いたしません。
- ◎受験者が病気或いは怪我などで欠席する場合は病院の診断書を提出して下さい。次回の試験に延期できます。
- ◎受験者の3親等以内の方がご不幸の場合には何等かの証明があれば次回の試験に延期できます。

《テキスト取扱いについて》 当支部は下記のテキストを常時取り扱っています 購入の場合はご利用下さい

◇JIS手溶接受験の手引き 1,700円	◇溶接技術の基礎 2,060円	◇溶接・接合技術 4,500円
◇JIS半自動溶接受験の手引き 1,900円	◇新版鋼構造溶接施工管理教本 2,500円	◇WES2級新問題集 2,000円
◇JISステンレス鋼作業教本 1,500円	◇WES1級新問題集 1,500円	他

クイズ?

諺にもいろいろ有りますが、動植物の名前のついた諺も多くあります。()の中に動植物の名前を入れて下さい。

1. ()()3年()8年
2. ()で()を釣る
3. ()が()をうむ
4. ()の威をかる()
5. ()も鳴かずに撃たれまい
6. ()に引かれて善光寺参り
7. ()百まで踊り忘れず

答えはファックスでお寄せ下さい、応募者には粗品をお送り致します。

原稿を募集しています。

自社の紹介や、技術関連、簡単な旅の話・写真・クイズの問題等お待ちしております。

(社)日本溶接協会神奈川県支部

TEL 044-233-8367

FAX 044-246-5265